

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	理念等の掲示が無く、目に触れることがなかなか出来ないので、目につきやすい場所に掲示する必要がある	目につくところに、理念の掲示をし、理念実現に向けた取り組みができる。	玄関の重要事項説明書の隣りに理念を掲げ、普段から、理念の実現にむけた取り組みを意識できる。	8ヶ月
2	49	行きたいときに行きたいところに外出することが、難しい。	ご利用者の意向を聞いて外出をすることができる。	ご利用者の意向を聞き、外出の機会を設ける。	8ヶ月
3	36	地域の方々との関わりが希薄である。	地域の自治会活動等に参加できる。	地域の方々との関わりを持つために、地域行事に参加していく。	8ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。